

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2016-525516 (P2016-525516A)

【公表日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2016-051

【出願番号】特願 2016-526515 (P2016-526515)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/56 (2006.01)

C 0 7 K 14/545 (2006.01)

C 0 7 K 14/525 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/52

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 14/56

C 0 7 K 14/545

C 0 7 K 14/525

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 K 37/24

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 3 日 (2017.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 種のサイトカインを含む融合タンパク質を含む組成物であって、少なくとも 1 種のサイトカインが、その受容体に対する結合活性を強力に低下させる変異を含み、かつ少なくとも 1 種のサイトカインが、標的細胞上の変異したサイトカインの活性を回復する細胞特異的な標的化を提供する野生型サイトカインである、前記融合タンパク質を含む組成物。

【請求項 2】

G G S リンカーをさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記サイトカインが、X C L 1 及び I F N 2 である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記サイトカインが、CCL20及びIL-1である、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項 5】

前記サイトカインが、TNF及びレプチンである、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項 6】

前記INF 2が、変異を含む、請求項3に記載の組成物。

【請求項 7】

前記XCL1が、変異していない、請求項6に記載の組成物。

【請求項 8】

前記IL-1 が、変異を含む、請求項4に記載の組成物。

【請求項 9】

前記IL-1 の変異が、120、131、146、148、および290から選択される位置にある、請求項8に記載の組成物。

【請求項 10】

前記IL-1 の変異が、R120G、Q131G、H146A、Q148G、およびK209Aから選択される、請求項9に記載の組成物。

【請求項 11】

前記CCL20が変異していない、請求項4に記載の組成物。

【請求項 12】

前記レプチンが、変異を含む、請求項5に記載の組成物。

【請求項 13】

前記レプチンの変異が、86の位置にある、請求項12に記載の組成物。

【請求項 14】

前記レプチンの変異が、L86SおよびL86Nから選択される、請求項13に記載の組成物。

【請求項 15】

前記TNFが、変異していない、請求項14に記載の組成物。

【請求項 16】

細胞における免疫応答を刺激する方法に使用するための請求項1～15のいずれか1項に記載の組成物であって、前記方法は、細胞と前記組成物を接触させることを含むことを特徴とする、組成物。

【請求項 17】

NF Bが活性化されている、請求項16に記載の組成物。

【請求項 18】

前記変異したサイトカインが、R120G、Q131G、H146A、Q148G、およびK209Aから選択される変異を含むヒトIL-1 変異体である、請求項17に記載の組成物。

【請求項 19】

前記サイトカインの一つが、野生型CCL20である、請求項18に記載の組成物。